

【輪之内町】
端末整備・更新計画

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
① 児童生徒数	721	699	682	643	596
② 予備機を含む整備上限台数	829	803	30	0	0
③ 整備台数 (予備機除く)	0	699	0	0	0
④ ③のうち 基金事業によるもの	0	699	0	0	0
⑤ 累積更新率	0	100	100	100	100
⑥ 予備機整備台数	0	55	0	0	0
⑦ ⑥のうち 基金事業によるもの	0	55	0	0	0
⑧ 予備機整備率	0	8			

(端末の整備・更新計画の考え方)

令和元年度および2年度に購入した端末のバッテリーの劣化が激しく、授業での利活用にも支障を来していることから、令和7年度中に、予備機を含めて754台の端末を一括で整備する。経費を抑えるため、購入により整備する。なお予備機は最大で児童生徒数の15%まで整備できるが、今後の児童生徒数の減少を見据え、約半数の8%程度とする。令和8年度以降は児童生徒の減少による余剰分を予備機に充てていく。

(更新対象端末のリユース、リサイクル、処分について)

○対象台数：889台

○処分方法

- ・使用済端末を公共施設や福祉施設など地域で再利用 : 80台
- ・小型家電リサイクル法の認定事業者にて再使用・再資源化を委託 : 809台
- ・資源有効利用促進法の製造事業者にて再使用・再資源化を委託 : 0台
- ・その他 () : 0台

○端末のデータの消去方法

- 自治体の職員が行う
- ・処分事業者へ委託する

○スケジュール (予定)

- 令和7年9月 新規購入端末の使用開始
- 令和7年9月 使用済端末のデータ消去および処分開始

【輪之内町】
ネットワーク整備計画

1. 必要なネットワーク速度が確保できている学校数、総学校数に占める割合（％）

必要なネットワーク速度が確保できている学校数は、小学校3校、中学校1校で、総学校数に占める割合は100％である。学校規模による当面推奨される帯域と実際の測定結果は以下の通りである。

学校名	児童生徒数（人） (令和6年5月1日現在)	当面の推奨帯域（Mbps）	測定値（Mbps）
福東小学校	96	216	719
仁木小学校	147	270	666
大藪小学校	209	377	653
輪之内中学校	269	408	698

2. 必要なネットワーク速度の確保に向けたスケジュール

令和6年8月に町内全ての学校で無線アクセスポイントを更新した。更新後にネットワークアセスメントを実施したところ、全ての学校で必要なネットワーク速度を確保できている。

【輪之内町】

校務DX計画

令和5年度に実施した「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」による点検結果によると、校務DX化を推進できている項目と、今後改善していく必要がある項目がある。これらの点検項目うち、国から示された「教育委員会及び学校が教育DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目」について、輪之内町の実態及び今後の計画は以下の通りである。

①FAX・押印の原則廃止

現在のところ、FAX・押印については従来と同様に使用している。今回の調査結果では、FAXについては町内すべての学校で使用、押印については保護者・外部との文書のやり取りにおいて、半数の学校で署名および押印が必要と回答している。FAXについては、相手がFAXによる回答を求める場合があるので完全には廃止できないが、不要な場面では使用しないなど段階的に使用を減らしていく。押印についても、必ずしも必要としない文書については、アンケートフォームに置き換える等の方法を推進することで、廃止を目指していく。

②校務支援システムへの名簿情報の不必要な手入力作業の一掃

現在導入している校務支援システムでは、学齢簿から名簿情報を取り込むことができ、手入力作業は不要である。手入力が不要なため、負担が軽減されるだけでなく、入力ミスがないというメリットもある。なお、名簿情報の取り込みは、教育委員会が一括して行っており、学校へ負担をかけないようにしている。

③クラウド環境を活用した校務DXの積極的な推進

今回の調査結果では、「保護者への文書の配付」「保護者からの提出文書の受付」「保護者アンケートの実施・集計」「児童生徒への各種連絡」「児童生徒への調査・アンケート」「教職員への調査・アンケート」「教職員から学校へ提出する事務手続資料」などの項目について、クラウド環境の活用が一部の学校のみでの実施となっている。これらのことは、現在の町のシステムでもクラウド環境で行うことが可能である。今後、どの学校もクラウド環境を活用することで、校務DXを推進していく。

④次世代の校務システムの導入に向けた検討

現在導入している校務支援システムの運用は、令和8年8月31日までとなっている。現在の校務支援システム同様、次期校務支援システムについても県内統一での導入を検討中であり、システムの各種機能等を活用した学校の業務改善や教職員の負担軽減を目指していく。

【輪之内町】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

タブレットの活用により、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一層推進する。「個別最適な学び」については、困り感のある児童生徒は、端末を活用してこれまでの学習を振り返り、自分のペースで学習を進めることで理解を深め、習熟の早い児童生徒は、自分で選択して発展的な問題にも取り組み、より思考力を高めていけるようにする。また、「協働的な学び」については、タブレットを活用してグループワークを行うことで、問題解決能力やコミュニケーション能力を育み、将来の社会で必要とされるスキルの習得にもつなげていく。

さらに、これらの学びに加え、探究的な学習を推進する。児童生徒が自ら課題をつくり、タブレット端末を活用して情報を収集・分析し、課題を解決していく。このようにICTを活用することにより、深い学びの実現を目指す。

2. GIGA第1期の総括

国のGIGAスクール構想を受け、輪之内町では令和元年9月に236台のタブレット端末を整備した。これはどの学校も2学級が同時にタブレットを使用して授業を行えるように児童生徒数から算出したものであり、その後、数年かけて順次台数を増やしていく計画であった。しかし、新型コロナの流行を受け、遠隔授業を行ったり、家庭で自主学習を行ったりするなどの必要性から、新たに653台のタブレット端末を整備することとし、令和2年9月に1人1台端末の導入が完了した。また、端末整備と並行して、各学校のネットワーク環境についても強靱化工事を行い、多くの端末を同時に使用した時にも円滑に接続できるよう整備した。

このように環境の整備をするとともに、輪之内町では、3か年ごとに「教育の情報化推進計画」を策定し、第1次（令和2年度～4年度）は「1人1台端末を活用した授業改善と情報活用能力の育成」、第2次（令和5年度～7年度）は「協働的な学び」と「個別最適な学び」の実現を目指した日常的な1人1台端末の活用」をテーマとして、端末の有効活用を目指して取り組んできている。また、令和3年度および4年度には、町内の小中学校が岐阜県から「ICT活用モデルの構築・推進事業の実践フィールド校」に指定され、学習支援ツールやデジタル教科書、デジタル教材などを活用する授業実践を重ねてきた。

今後は、授業においてICTを活用する目的を教師自身が明確にもち、ICTと従来の紙媒体での学習方法を組み合わせ、それぞれの利点を生かしつつバランスよく学習指導を行うことで、より効果的な学習を行えるようにしていく。また、児童生徒が授業でタブレット端末を利用する際、単に情報の収集をするだけでなく、得た情報を目的に応じて効果的に活用する力をつけていくとともに、さらには収集した情報をもとにまとめた自分の考えや意見を他者に発信する力をつけていく。

3. 1人1台端末の利活用方策

令和7年8月までに、町内全ての小中学校で児童生徒用のタブレットの更新を完了し、夏休み後の授業から活用できるようにする。今回の更新でOSをWindowsからiPadへの変更を予定していることから、教師自身も使用法に慣れ、授業の中で効果的に利用していけるようにするため、定期的に職員向けの研修を行う。また、校内でもICT活用推進教師を中心に実践の交流を行ったり、ICT支援員が各学校を巡回して活用の支援を行ったりして、教師のICT活用のスキルを高めていく。児童生徒の利活用については、どの教科においても日常的に文房具のように使えることを目指す。特に学習者用デジタル教科書については国費で導入している英語、算数・数学のほか、町費でも1教科導入しており、授業でのより効果的な活用を推進していく。

また、「個別最適な学び」や「協働的な学び」ができるよう、自分の理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面や、仲間と考えを伝え合う場面、自分の考えを表現する場面などでの端末の活用を推進していく。

「学びの保障」については、端末を活用してオンライン授業を行ったり、デジタルドリルで個別学習に取り組んだりすることに取り組んでいく。オンライン授業については、現在各学級に1つずつオンライン授業用のライセンスが付与され、いつでもできる状況である。このよう利点を生かし、感染症等による出席停止、不登校、別室登校等の児童生徒を対象にオンライン授業を行う。また、既に導入しているデジタルドリルを活用し、教師が取組状況を把握しながら個別に支援をしていく。このように、どの子にも学びを保障する。